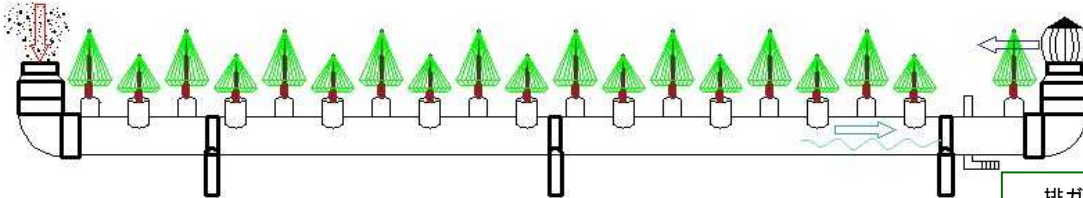


エス・イー・アールの環境アイテム紹介

次世代のMGSパイプ緑化法

ベンチレーションで空気を吸引し、根の茂ったパイプ内面を通過させます。空気中の塵、花粉などはパイプ内部で濾過され植物の養分となります。夏はより涼しく、冬暖か、しかも粉塵を除去し、超軽量な節水型緑化です。

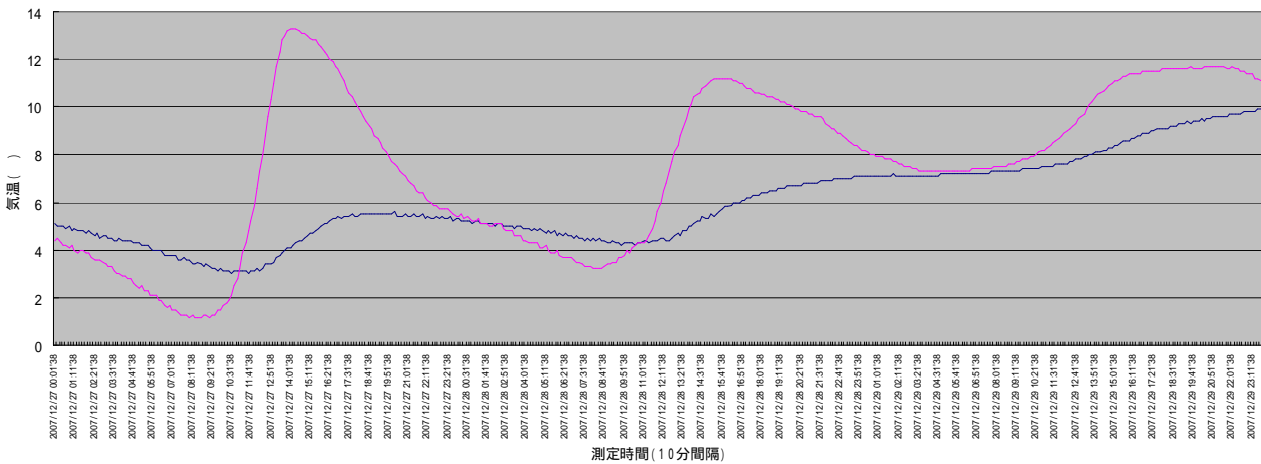


特徴:

ディーゼル排ガスや花粉等を積極的に濾過します。
夏はより涼しく、冬は保温効果があります。
植栽が容易なだけでなく樹木も植えられます。(可動式植栽法認定品)
雨水を貯めることも出来、長期間水やりの必需がない超節水型緑化法です。
防根、防水工事が不要で、設置や移動が簡単に出来ます。
ベランダやビルの角など使われていない空間緑化に最適です。
粉塵、埃の飛散がありません。

排ガス・花粉等の粉塵
風力ベンチレーション
排気(冷気&粉塵除去)
保持水
空気の流れ
植栽用パイプ
ベースパイプ

MGS緑化と一般緑化の植栽土中温度(H19年12月27日~29日)
青:一般緑化土中温度 / 赤:MGS緑化土中温度



屋上緑化を行うと冬寒い！？を現在検証中です。

今年、12月の20日間のデータでも通常の緑化土壌中の温度はMGSパイプの植栽土中より1.13、外気より0.41低いというデータが得られました。

風の強い冬期は土の表面で気化熱を奪われ、建物全体が冷えてしまうものと考えられます。

一般緑化とMGS緑化の土中温度差
温度差 = (MGS緑化土中温度) - (一般緑化の土中温度)
最大温度差: 9.2

